



11月14日、東白川小学校で収穫祭が行われました。緑に親しむ時間にクラスごとに育ててきたものです。米は飯ごうで炊いておにぎりにし、ジャガ芋やサツマ芋はアルミホイルに包んで焼き、収穫の喜びを味わいました。

—— 遊びの森で収穫祭を行う児童たち ——

人口の動き

—10月末住民登録人口から—

世帯数	926世帯
人口	3,579人
転入	6人
転出	7人
出生	3人
死亡	0人

先月と比較して2人増
 昨年の同月と比較して4人増

この一年

62年にはこんなことが...

昭和62年もあとわずかで暮れようとしていきます。厳しい財政事情の中で今年も明るい話題がとびかいました。待望の進出企業の本社工場完成や東白川病院の病棟の完成。岐阜県知事が来村され「あおぞら広聴」が開かれたこと、そして商工会が中心となって「むらおこし事業」の試作研究が本格的に始まり、村内に活気があふれました。今年1年をふり返り、おもな出来事を上げてみました。



今年行われた統一地方選挙は私たちにとって最も身近な選挙で、新しい時代の要請にふさわしい真に私たちの代表者となる人を選挙とあって、高投票率が示すとおり有権者の関心も高かったようです。

()内は投票率

- ▷ 4月12日岐阜県議選 (80.21%)
- ▷ 4月26日村長選挙 (95.63%)
- ▷ 4月26日村議選 (95.63%)

4月

統一地方選挙



村長・村議選開票風景(村民センター)



全面改築され生まれ変わった病棟

3月

快適な病棟が完成

3月27日東白川病院の病棟が完成竣工式が行われました。旧病棟は昭和40年度に建設された木造2階建て28床全室が個室でしたが、老朽化が激しいうえ病室が狭く治療に不便などの理由から近代化が強く要望されていたもの。新しく完成した病棟は、1人部屋5室、2人部屋10室、4人部屋2室で33床を備えています。

昨年の8月に誘致企業として岐阜部品株式会社が進出して以来、仮操業を続ける傍ら村と第三セクター株式会社東白川が進めていた新工場と関連施設の建設は、3月24日に完成し竣工式が行われました。

第三セクター(株)東白川が岐阜部品(株)に賃貸するシステムを導入し石井社長、従業員198人で本格操業を開始しました。

3月

岐阜部品(株)が本格操業



越原曲坂地内に完成した本社工場

おもな出来事

1 月

▶成人式 新成人=56人(男25人女31人)が大人の仲間入り。

2 月

▶公民館公演会「いのちありがとう」をテーマに瀬上敏雄先生が講師で五加センターと越原センターで開催しました。

3 月

▶消防団入退団式 今井副団長ら22人が退団、新しく23人が入団。

4 月

▶水田農業確立対策がスタート 53年度から実施してきた水田利用再編対策が61年度で終わり、新たに水田農業確立対策がスタートし4月1日から6年間実施されることになりました。

5 月

▶本村で加茂郡老人福祉大会 郡内の老人クラブ役員ら140人が参加、研修しました。

6 月

▶夜間照明を整備 神土運動場と総合運動場テニスコートの夜間照明が整備され、6月1日から使用開始。余暇利用の場が拡大されました。

7 月

▶農業委員会委員選挙無投票で当選 7月7日に告示され、同日立候補者の受付が行われた農業委員会選挙は定数の15人を超えなかったため無投票当選となりました。

8 月

▶成人病予防検診 今年で38回目を迎えた成人病予防検診は、8月3日から6日間村内15会場で行われました。

9 月

▶第13回老人まつり 約300人の老人クラブ員が集まり、軽スポーツを通して親睦をはかりました。

10 月

▶郷土歌舞伎県芸術祭で熱演 瑞浪市の相生座で郷土歌舞伎を披露。

本村出身の作曲家でシンセサイザー奏者として知られる藤掛廣幸さん(38歳)の「ふるさとコンサート」が、8月13日東白川小学校体育館で開かれ、約1,600人がつめかけ、村で初のコンサートをたのうしました。企画から運営まで、すべてに残る同級生による手づくりコンサートでした。

8 月

藤掛廣幸コンサート



藤掛さんの「ふるさとコンサート」

岐阜県知事と直接ひぎを交えて県政を語り合う第73回「あおぞら広聴」が、10月16日東白川小学校のランチルームで開かれました。午後1時半から始まった広聴会には、約430人が参加し、11人の代表が質問に立ち建設、福祉、教育、農林業などについて卒直に知事に訴えました。また、小学校6年生の児童が社会勉強を兼ねて傍聴し、最後に知事に質問をするなど会場は大いに盛り上がりました。

10 月

本村で「あおぞら広聴」



村民の質問や要望に答える上松知事



強風でロープが切れ通行不能となった立岩橋

6 月

強風雨とひょう五加で被害

6月22日の午後6時から10時にかけて強い風雨に伴ってひょうが降り、五加地区の白川沿いで農作物に被害が出たほか、道路の決壊1か所、床下浸水10軒、白川に架かるつり橋が被害にあいました。

農作物の被害は、大豆、ナス、飼料作物、家庭菜園など約2.6ha。被害額は約900万円となりました。



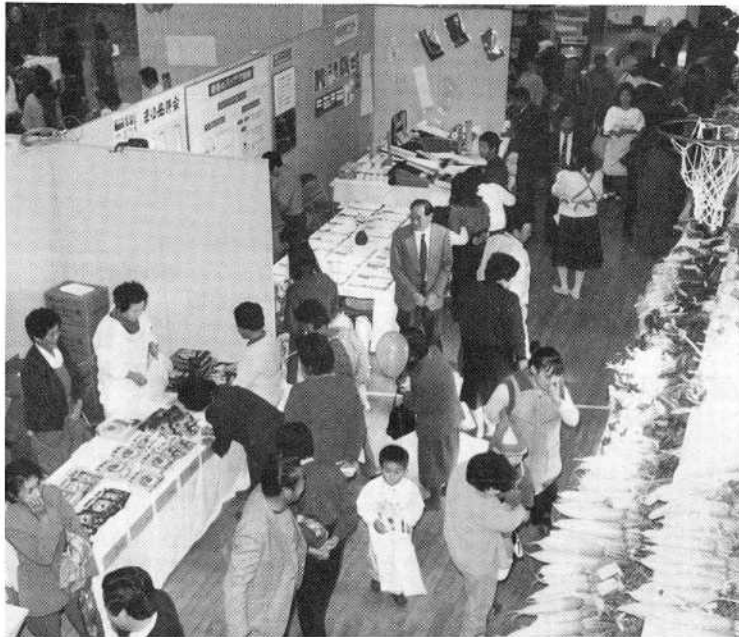
熱心に話し合いがされた「明日のPTAを語る会」

9 月

東白川小で郡P研究会

「心身ともに健全な子供を育てよう」を大会テーマに、9月13日加茂郡PTA研究大会が本村の東白川小学校で開かれました。この大会は、加茂郡下のPTA会員が一堂に会し、実践と活動の成果について協議する中でPTAの本質をただし、そのあり方を追求しようとする目的で、加茂郡小・中学校PTA連合会(安倍徹会長)が主催で行われたものです。当日は約450人が参加しました。

多くのイベントでにぎわった産業祭会場—中学校体育館



好天に恵まれにぎわう

第八回産業祭

「感じます未来の風、育てようみんなのふるさと」をテーマに第八回東白川村産業祭が十一月二十二日、中学校体育館とその周辺広場で開かれました。今年は、中学校来博の協賛行事として内容も豊富にし、各分野からも多くの協力を得てむらおこしムードの高い産業祭となりました。

ギネス21点を認定 5点が記録更新

昨年まで役場前広場と村民センターで開かれていた産業祭は、今年は、中部未来博協賛行事として内容が豊富になったため、中学校体育館とその周辺広場に会場を移して開かれました。

催し物の内容は、恒例の農産物品評会、綱引き大会、ギネス東白川何でも村一番の展示と認定証交付式などのほか、今年は新しい企画として村づくり写真展、おんきいみんなのスポーツ広場、福祉の村づくり展、ミニ健康展など軽スポーツの普及や住民福祉の面まで幅を広げて行いました。

特に肉牛コーナーでは、東白川の牛一頭分の肉の安売りが行われ五百円二千七百五十円のステーキ肉が飛ぶように売れ、鳥羽から直送の活漁の安売りとともに人気がありました。

また、くじもち投げやふわふわコアラには、多数の村民がお

しかけて秋の一日を楽しみました。出場者数は、好天に恵まれたことや連休の前日とあつて周辺町村や美濃加茂方面から、それに帰省者も加わり、午前九時から午後三時まで、ほぼ村の人口の三分の二に当たる二千八百人近くの人出でにぎわいました。

農産物品評会には、ダイコン、カブ、ニンジン、大豆など三百九十五点が出品され、審査の結果、一等一十四点、二等十四点、三等二十八点となり団体賞として、一位黒淵・栃山富農組合、二位神付富農組合、三位大沢農事改良組合が選ばれました。

同会場で午後一時から村の産業振興に功労のあつた六人の表彰と一般から募集していたギネス東白川何でも村一番の認定証交付式が行われ、次の方々が表彰・認定されました。

東白川村産業振興功労者

- ▽村づくり推進活動—今井克彦(神付)▽農業—神付富農組合代表今井悟史
- ▽商工業—田口七郎(平)▽茶業振興—安江庄吉(日向)▽園芸振興—安江敏

治(日向)▽林業—老人クラブ長寿会代表安江丹次

ギネス東白川何でも村一番

- ▽大根—七十三(今井正男)
- ▽かぶ—三・五(栗本富美恵)
- ▽白菜—五・五(安江正晃)
- ▽じゃがいも—九百五十(栗本富美恵)▽にんじん—六十一(今井香代)▽和牛—八百八十五(高井吉男)▽鶏卵—百四十九(熊沢光介)▽うなぎ—一・八(安江秀太郎)▽きゅうり—四十八・五(藤井たろ)▽へびの皮—百九十九(桂川國男)▽あまご—四百(河村繁治)▽すいか—五(近藤高雄)▽ひまわり—三・二(安江正徳)▽やまゆり—花房数七十一個(菊田甲子郎)▽かぼちや—十四(桂川耕作)▽とうがんとん—十五(桂川耕作)▽熊蜂の巣—四十六(安江友二)▽なす—八百三十五(樋口久人)▽なす—四十二・五(田

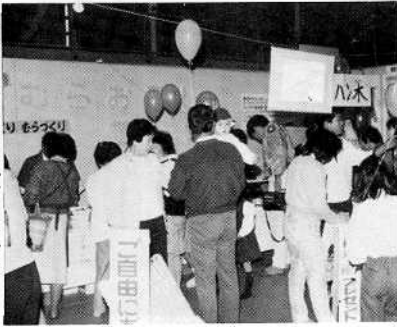


ギネス東白川に認定されたひまわり高さ 3.2m

口義則)▽さつまいもー一株の重さ七・四。(大坪美保)▽さつまいもー一個の重さ二・六。(安江英樹)

できたぞ!!村の特産品 むらおこし事業中間発表

東白川村商工会では、今年度県と村の補助を受けて「むらおこし事業」に取り組んでいます。このほど開かれた産業祭でその事業の中間発表を行いました。同商工会では、むらおこし事業実行委員会を設け、特産品開発と観光開発の二つの専門委員会によって事業を進めており、今回の中間発表は、これらの専門委員会が開発した商品やアイデアが展示され、会場を訪れた人々の興味を呼びました。



産業祭会場内に設けられたむらおこしコーナー

このうち特産品開発部門では清流白川で育ったあまごの燻製炭火焼き、一夜干しと、東白川産の甘熟トマトを使ったトマトジャムの試食コーナーは、いつも人であふれていました。

また、お土産品として注目を集めたのが洋菓子の「しあわせお菓子」と名づけたもので、明治初年に旧苗木藩が断行した廃仏毀釈の仏教弾圧によって割られた「四つ割の南無阿弥陀仏碑」にちなんだもので「四合わせ」から取ったもの。イチゴジャム、トマトジャム、よもぎあん、干柿あんの四種類を中心にくるんで焼き上げた菓子。和菓子では檜茶ようかんと白川茶最中の詰め合わせなどが展示され、発想のユニークさとほのかな風味が好評で、新しい土産品として今後の開発が期待されます。

木製品では、特産の東濃ヒノキを使った「木製安楽いす」が展示され、ヒノキの小切れを組み合わせ体にフィットするよう、う考案されたチェアは、今後の開発次第で健康家具としても期待できそうです。

このほか、郷土料理アイディアコンクールの作品が展示されたほか、観光開発部門では「ふるさと会員制度」や「朝市」総合開発システム」について展示があり関心を集めていました。

東白川の家感謝イベント 産業祭に一日招待

この産業祭に、村と東白川村木造建築協同組合が協力して進めている産直住宅「東白川の家」の四つのまごころプレゼンツの一つとして、感謝イベント一日招待を行いました。これは昨年の四月以来、今年の十月までに完成した東白川の家を注文主を対象に村へ招待したもので五十人を招待し、約四十人が参加しました。



産業祭会場を見学する感謝イベント招待者

業祭会場へでかけ、新鮮な野菜や豆みそ、白川茶などの特産品販売コーナーで買物をしたり、勇壮な檜茶太鼓を中心としたふるさと太鼓まつりなどのステージを楽しみました。

今回の感謝イベント招待の中でも、きめ細かい対応で心のふれあいを大切に育てていました。

おんさいみんなの

スポーツ広場

今年の産業祭には新しく「おんさいみんなのスポーツ広場」を加え、産業祭に来た皆さんが軽スポーツを体験する場としました。

体育館では、ミニ健康展、健康相談コーナー、自分の体力を数字で知り今後の体力づくりの基とする体力テストコーナーを開設。神土運動場では、だれでも気軽に軽スポーツを体験できるように十種類の用具をそろえて軽スポーツ体験コーナーを設け、個人の記録に挑戦するチャレンジコーナーもつくりました。また、ビーチバレーボールの試合やウォークラリーを特設会場で行い、グループや仲間と参加する機会と産業祭の一日を楽しくしました。

当日の個人チャレンジ東白川

村一番は次の方々でした。

- ▽スビードボールー百二十八
- * 田口清隆(平)▽縄とび一重
- 一男子千四回岩森直人(各務原市)、同女子三百八十一回安江由紀代(下親田)▽縄とび二重
- 一男子九十八回安江一修(神付)
- 同女子七十一回栗本昌子(平)
- ▽握力一男子左右五十九、今井清彦(陰地)、同女子右四十五
- * 左四十一、今井喜代(神付)
- ▽背筋力一男子二百三十二、古田伸幸(大口)、同女子二百二十七、今井喜代(神付)▽フリー
- スローー五土井宏治(柏本)
- ビーチバレーボール
- ▽優勝ー越原松岡成子チーム
- ▽準優勝ー神土村雲令子チーム
- ウォークラリー
- ▽優勝ーマドンナチーム
- ▽準優勝ーとんちんかんチーム



ビーチバレーボール表彰式(産業祭スポーツ広場)

67人に優良運転者表彰

交通法令講習会



事故事例について説明する小野部長さん（村民センターで）

加茂地区交通安全協会東白川支部と村の交通安全対策協議会が主催する昭和六十二年度の交通法令講習会が、村駐在警察官小野部長さんを講師に、十月二十五日に中学校体育館で、また十一月十五日に村民センターで開催されました。

特に今年は、加茂警察署管内の交通死亡事故発生件数が多く、過去十年間で最悪の事態となっており、県下でもトップとなっていることから、交通法規の遵守や交通道德の徹底に心がけていただくため、一人でも多くのドライバーに受講していただくとうと十月に都合で受けられなかった人を対象に十一月にと二回開催したものです。

小野部長さんの講話は、今年加茂署管内で起きた交通事故の

概要や発生状況について説明され、特に若者が関与する事故が増えていることを指摘されました。

交通ルールを守り、家庭や職場、地域で交通安全について話し合い、交通事故をなくしたいものです。

同講習会の席上今年度の優良運転者に表彰伝達があり、運転歴四十二年余りの今井利夫さん（六十八歳＝宮代）をはじめ六十七人の皆さんが受章されました。

【特別優秀章】今井利夫

【県優秀章】安江重利、古田澄雄、今井正男、田口伝夫、安倍博之、安倍徹、田口和昭、桂川耕作、安江祐之、今井外吉、藤井勝美、今井義信

【県優良章】安江重治、村瀬武和、安江益美、桂川眞弘、瀨川甲子郎、大脇末男、安江信次、河田重喜、今井章、村雲勇市、今井久美子、桂川国男、稲垣たみ子、嶋倉正允、安江俊治、今井保、今井敏子、今井正己

【県模範章】安江悦子、安江耕大岩俊逸、今井百合子、安江謙次郎、藤井辰司、安江勲、安江豊子、安江光昭、村雲巖美、安倍俊子、村雲隆子、桂川眞郷、桂川幸、安江喜好、熊沢信彦、土井則子、土井信行、野村孝、安江八千代、今井直美、古田岸子

【地区模範章】安江トシ子、安江照子、樋口綾女、樋口清市、安江永子、河村まなみ、安江佐智子、田口小鈴、今井怜、近藤富雄、今井利夫、安江誉、安江要、榎間一吉

43年間無事故無違反

今井利夫さん（68歳＝宮代）



今井利夫さんは、このほど今年度の優良運転者表彰で特別優秀章（岐阜県知事表彰）を受けられました。この特別優秀章は模範運転者の中でも特に優秀な人に贈られるもので岐阜県では最高のものです。

今井さんは、昭和十九年十一

月に運転免許証を取得され、濃飛バスに五年間、製材所に定年まで三十年間を職業運転手として勤務され、今日まで四十三年間無事故・無違反で通してこられました。

「家族の協力もあって今日までこれだ。ハンドルを握ったら身を引き締め、スピードは控えめ、譲りあいのある心で安全運転に心がけている。」と語っておられます。このたびの受章おめでとうございます。

戸籍の窓 十一月＝敬称略



誕生おめでとう
ございます

けいせい

- (栃山) 加藤 治昭 美子 美穂
- (大明神) 安江 達哉 弘子 行美 美穂
- (大明神) 三戸 行美 可奈



いつまでも
おしあわせに

- 石神 和巳(平)
 - 平下美保子(曲坂)
 - 村雲 知巳(西洞)
 - 山口ちほみ(白川町)
 - 早瀬 政広(上親田)
 - 佐野ひろみ(加子母村)
 - 古田 正広(久須見)
 - 前田真由美(名古屋市)
- 善意の寄付＝敬称略
- 【小学校楽器整備指定寄付】
現金四十六万七千八百八十九円＝藤掛廣幸コンサルタント実行委員会
- 工事入札結果の公表
- ①は入札期日②は落札金額
および落札業者③は指名業者

受賞を喜ぶ児童たち—東白川小学校



昭和六十二年度の健康優良学校（県教育委員会・朝日新聞社など主催）の中規模校の部で、東白川小学校が選ばれ、四年連続県一位の偉業を成しとげまし

健康優良学校県一位

東白川小が四年連続

た。

そして、十一月三日に東京都朝日ホールで行われた全日本健康優良学校の表彰式に岐阜県代表校として、三宅校長と六年生の安江寿樹君の二人が出席し表彰を受けてきました。

この輝かしい業績は、先輩たちが築きあげた伝統の力や全村あげての学校保健活動、よい歯の学校づくりなど実践の成果であり、身心ともに健康でたくましい児童・生徒の育成に、学校、家庭、地域がそれぞれの責任と役割を果たし、適切な学校保健、安全の指導と児童自身のがんばりの成果であると思います。

正司歌江さん熱演

第十五回文化講演会

「文化の日」十一月一日から三日まで村民センターで文化展が、そして、三日には十五回目を迎えた文化講演会が中学校体育館で開かれました。

講師には、「かしまし娘」でおなじみの女優、正司歌江さんを迎え、「笑いと涙と希望の人生ドラマ」という演題で、旅役者を両親にもつ彼女が、両親の巡業先の北海道で長女として生まれ

三歳で初舞台を踏み、かしまし娘を結成し、現在の不動の人気を得られるまで、一見華やかな芸能生活のウラの女性として、主婦として、母としての長年にわたる数々の体験をもとに、ユーモアを交え訴えました。

さすがに笑いあり、涙ありの彼女の得意な弁舌は、会場に集まった聴講者約五百人を魅了しました。



ユーモアを交えた弁舌で会場内を魅了した正司歌江さん



奉仕作業をする中学生（村民センター前で）

十一月二十六日、東白川中学校の生徒たちは、村内の公共施設などクラスごとに六か所を選んで奉仕作業をしました。

これは、生徒たちが地域への奉仕作業を通して、働くことの尊さを知り、併せて郷土愛をは

村内の公共施設スッキリ

中学生が奉仕作業

ぐくむのが目的。昼食後、午後二時までにそれぞれクラスで定められた場所に集合。総合運動場で便所の掃除や側溝に埋まった泥をさらえたり、神田神社の落ち葉を掃いたり、役場や村民センター周辺、

東白川病院から平バイパス周辺までの道路、河川のゴミや空き缶拾いなどそれぞれの地区で約一時間半にわたり取り組みました。通りがかった人たちも、しばし足を止め、献身的に働く中学生の姿に感銘していました。

- 〈県営畑総工事〉
- ◇新築小時線舗装工事
- ◇穴沢線舗装工事
- ①十月二十日②二千三百九十万円—大脇建設(株)

歳末たすけあい運動

にご協力を

今年も十二月一日から一月間「歳末たすけあい運動」が展開されています。この運動は「国民たすけあい共同募金運動」の一環として行っているもので、わたしたちがみんなそろって明るいお正月を迎えられるよう、物心両面から援護活動を推進しようというものです。

わたしたちの周りには、被保護世帯や低所得世帯をはじめ、最近では特に在宅の心身障害者（児）や寝たきり老人をかかえた家庭、ひとり暮らし老人など苦労されている人が少なくありません。

こうした方々へ援助の手を差し伸べて、善意の輪を大きく広げ、住みよい地域社会をつくるため、みなさんの温かいご協力をお願いします。

募金は、組長さんや職場を通じてお願いしているほか、役場、病院窓口に募金箱を設けていますのでご協力を。

素直な心で

ともに歩もう

—— 基本的人権と同和問題 ——

「健康で安定した暮らしをしたい」「より豊かな暮らしをしたい」
 こうした願いをだれもが持っています。また、そうでなくてはなりません。人間が人間らしく生きてゆく権利を「基本的人権」といいます。日本国憲法は、この基本的人権をすべての人に保障しています。十二月四日からは人権週間です。この機会に家庭や職場で話し合い、差別のない明るい社会を築きましょう。

基本的人権はだれも侵すことはできません。ところが、そうでない場合があります。残念なことですが、さまざまな人権の侵害や不当な差別がわたしたち



のまわりにみられます。たとえ
 ば次のようなものです。

- ・ 部落差別
- ・ 心身障害差別
- ・ 婦人差別
- ・ いじめ差別

結婚差別事件の

一つの例

では具体的に考えてみましょう。次の文章は二十一歳の青年の「恋人への遺書」です。

今、モミジ谷に来ています。新緑がまぶしいほどきれいです。弱冠二十一歳で、この世ともおさらばかと思うと残念でしたかありません……あまりにも早く恋を知りすぎました。苦しみでしかありません。だれの責任でもない。結局俺が弱かっただけです。広い天国に晶一人はかわいそうです。やっぱり俺はあの子の父親なんです。晶は俺が育て

- ・ 老幼差別
- ・ 貧富差別
- ・ 学歴差別
- ・ 家柄差別
- ・ 血統差別
- ・ 人種差別

こうしたなかでも、同和問題（部落差別）は最も深刻で重大な社会問題です。同和地区に生まれ育ったということだけで差別され、国民全員に保障されている人権が侵害されているからです。

人権や差別についてみつめてみましょう。そして同和問題を正しく認識し、人権を尊重し、あらゆる差別をなくして明るい社会を築いてゆきましょう。

ます。晶の泣き声が聞こえます。父子手をつないで君を見守っていますよ。頑張ってください。5/3 誠

誠君は高校二年生のとき滋賀県の同じく高校二年生の和美さんと「詩の全国サークル誌」の投稿を通じてペンフレンドとなりました。彼は高校を卒業するとユニチカ京都宇治工場に勤務しました。まじめで明るく、会社の幹部登用試験にも合格し、前途は希望に満ちていました。和美さんの両親や叔母は、最初は部落の青年と結婚するはずなどありえないと信じこんでい

たのです。そのため、結婚問題が現実化すると、その結婚に反対しました。

二人の交際が進み、結婚の約束ができて両親や叔母の態度は変わりませんでした。会社の上司と共に和美さんの両親をたずねてもだめでした。

二人は戸籍謄本をとりよせたり、誠君の誕生日に結婚式をあげようと相談したり、友人にも結婚式のことを知らせたりしました。

和美さんの両親は激怒して、彼女を神戸の叔母の家に監禁同様にしました。そして妊娠四ヶ月の娘に中絶を強制したのです。

彼女はどうとう負けてしまいました。「晶」と名づけられた四ヶ月の男の子は闇に葬られました。このショックで誠君は自殺をはかりましたが、幸いに一命はとりとめました。

その後、何度たのんでもことわられました。彼はユニチカも退社しました。そして再び就職しました。が、あるとき「晶」の墓に詣でたとき、偶然にも彼女の父親に行きあいました。父親はこう言いました。「お前、まだ生きていたのか？」この罵倒で彼は大きなショックを受けました。その後、誠君と和美さんは再会しましたが、「二人は「別々にやっ行ってこう。」も

う会わないでおこう。」と別れました。彼女の母・友人同伴の大阪駅での三十分間の面会でした。彼はそのまま宇治のモミジ谷に直行しました。二人が時々会っていた思い出の場所です。また、その山の裏手には「晶」の墓があります。ここで彼は二度と帰らぬ死の旅に発っていったのです。父や母、妹、和美さんたちに遺書を残して……。

◇ ◇ ◇
 いかがでしょうか。若い命が消えてしまったのです。こうした差別の事実がいまだに残っているのです。これと同じように他の差別も存在しています。こうした人権を無視したことを一日もはやく解消したいものです。どうしたらよいのでしょうか。「同情」では救われません。同情は裏返すと「自分でなくてよかった」という上下関係のものの見方だからです。

ではどうしたらよいのでしょうか。そうです。その「どうしたらよいのか」が大切です。それは傍観者からの脱皮の心が生まれているからです。ここから「差別を許さない」「差別しない」との心が出てくるわけです。私たちはいつでもどこでも互いに思いやり、相手の立場に立って生きてゆきたいものです。文・派遣社教主事 小保方研一

事故を防いで明るい新年

年末の交通事故防止

十二月に入り一段と気ぜわしくなってきました。新年まであとわずか、もう一度気を引き締めてがんばりたいものです。

混雑する道路でイライラ……今日中にどこどこを回らなければ一年が終わらない——こんな気持ちになるのも、年末の交通混雑の激しさと、経済活動の活発さがピークを迎えるからです。

この時期は、交通事故が多発する傾向にあります。ドライバーはもとより、歩行者も「思いやり」と「ゆとり」をもって、この時期は交通安全に特に注意するよう努めてください。

◎ ドライバーの皆さんへ

▽いくら忙しくてもハンドルを握るときは冷静に、道路状況におおじた控えめな速度で走る。

▽飲酒運転は身の破滅。「一杯くらいなら」といった甘い考えは絶対に持たない。

▽夕方は早めに点灯し、自車の存在を分りやすくするとともに、自転車、歩行者を見たら必ず除行する。

▽シートベルトは命綱、正しい方法できちんと着用する。

▽積雪地帯へ出かけるときはタイヤチェーンの有無、スノー（スパイク）タイヤの摩耗度を確認しておく。

◎ 自転車、歩行者のかたへ

▽道路を横断するときは、たとえ急いでいるときでも横断歩道など安全に横断できる場所を選んで横断する。

▽駐停車している車、渋滞で止まっている車の直前、直後を横断しない。

▽夜間外出の際は、明るい服装で出かけ、夜光ダスキや反射材なども忘れない。

▽自転車は、見通しの善しあしに限らず、必ず交差点で停止（除行）して左右の安全確認をする。

◎ 車上ねらい、乗物盗に注意

▽車を駐車するときは、必ず自宅の車庫か管理者のいる駐車場へ預ける。

▽自動車は、キー抜きドアロックを忘れない。

〈最終回〉

今日も元気で目覚めぬ眠るまで

生活チェックを毎日実践

一日の生活を終えて就寝の時間を迎えたとき、自然と眠くなるというのは健康状態のよい証拠です。一方、くたくたに疲れきって寝たにもかかわらず、目が覚めてからも気分がすっきりしないというときもあるようです。人には、それぞれ自分の睡眠パターンがあり、それがくずれると目覚めがよくなり、それだけに、自分の睡眠パターンを観察して、よく知っておく必要があります。また、今日一日を健康で快適に過ごすことができたかどうか、

就寝前のヘルス・チェック

日記に書くのも一つの方法

また、同じことばかりしていてもあきてしまいますので、ときどきチェック・ポイントの項目を変えてみる必要もあります。

毎日の区切りに健康チェックを

一日のヘルス・チェックとともに、一週間、あるいは一か月単位のチェックを取り入れてみて

はいかがでしようか。一週間、一か月、一年といった月日の一区切りは、健康状態を調べる大切なポイントだからです。

月日の流れが早く感じられ、常に明日への意欲をもてるというの、健康状態がよいことの反映と言えましょう。

正確な状態は健康診断や体力テストで

定期的な健康診断や体力テストによって、正確な健康状態を知ることも大切です。しかし、健康診断や体力テストは、正常か異常かを知るためだけではなく、そのような健康状態や体力をもっている人が、どのような生活をすればよいかを見つけ出すためのものでもあるのです。ヘルス・チェックの結果から「異常だ」「病気だ」といって心配する前に、自分の健康や体力の状態を観察して、日ごろの生活の仕方、労働の仕方、あるいは家庭や職場の環境を改善していく方策を見つけ出すようにしてください。

指導— 青山英康

岡山大学医学部教授



お知らせ



成年たすけあい運動
(12月1日～31日)

年末年始の業務

役場と関連機関

役場と関連機関の業務は、十二月二十九日から来年の一月三日までお休みさせていただきます。これに伴って年末年始の業務は次のようになりますのでご利用ください。

役場窓口

通常業務は十二月二十八日午後五時十五分まで行います。二十九日から三日まではお休みですが、死亡届などの受け付けは行います。あらかじめ電話してからお越しください。

有線放送電話

十二月二十九日から来年三日までお休みです。休み中の放送原稿は十二月二十二日までに提出してください。そのほか臨時放送は宿日直者が行いますが、なるべく急を要するもののみにとどめてください。

可燃物の収集

十二月二十五日(金)が今年最後の収集日となります。新年は一月八日(金)が最初の収集日です。所定の場所へ出してください。

東白川病院

十二月二十九日から来年三日まではお休みです。しかし、休み中は医師が待機していますので、急患やケガの場合は電話してからお越しください。

母子健康センター

年末年始とも平常どおり勤務しています。

村民センター

十二月二十五日までに使用申込書を出してください。年末年始に平常どおり利用できます。各部屋のカギは、役場裏側の直室にありますので、宿日直者から受け取ってご利用ください。なお、使用後は暖房機、湯沸かし器、タバコの後始末など確認

をお願いします。

工業統計調査にご協力を

県では、今年三十一日現在で工業統計調査を実施します。調査の対象は製造業を営む県内すべての事業所です。調査員が伺いますので調査にご協力ください。なお、これらの調査は統計の目的以外には使用されませんので、調査票にはありのままを記入いただくようお願いいたします。

個人白色申告者の記帳説明会を開催

個人白色申告者(事業所得のあるかた)を対象に、記録保存制度のあらましや、具体的な記帳のしかた及び取支内訳書の書きかたなどについて次のとおり説明会を開催します。

- 当日は、税理士会からも講師が派遣されますのでぜひご出席ください。
- ▽日時 昭和63年1月18日午後二時から三時三十分まで
- ▽会場 川辺町中央公民館
- ▽問合せ先 関税務署所得税第一部門 ☎〇五七五二二二一
- 二三三三(内線四六番)

未来博88コーナー(7)



1988年8月5日
未来博会場は
東白川の日

未来博の会場内に縦、横四〇メートルの大きなテントが出現し、その中に直径一〇メートルのステージが設けられます。

これが「ふるさと日本一広場」で、連日各市町村のイベントが繰り広げられるお祭り広場です。

私たちの村では、藤掛廣幸さんに依頼して、シンセサイザーに檜茶太鼓や三味線演奏を組み合わせたユニークな演奏を計画していましたが、このほど藤掛さんからその楽譜が届きました。

MY・舞・未来
高らかに東白川讃歌

藤掛さんが郷土のために作曲したこの曲の題名

は「東白川讃歌」で、第一部みどりの里、第二部かけ合い三味線、第三部白川清流登り打ち、第四部東白川音頭の四部作で、いずれもシンセサイザーと太鼓、三味線、エレキ演奏、それに歌と踊りで構成されており、多くの村民の皆さんに出演してもらって盛り上げるようになっていきます。

昭和六十三年八月五日のキヤッチフレーズとなっている「MY・舞・未来」にピッタリのイベントとしてすでに県下で話題となっています。

新年早々から未来博の本番に向けて、練習の音が高らかに響くことでしょう。



藤掛さん作曲「東白川讃歌」の楽譜

ふるさとの花

24

チャ(茶)



チャは檜や山茶花と同類ですが、それらのような華やかさはありません。昔から「わび」や「さび」、そして「冷え」「痩せ」「からび」など、そのものを見せているような花のさまが茶人たちに喜ばれて、多くの俳句が詠まれました。

茶の花の

からびにも似よわが心

青羅

茶の花に

隠れんぼする雀かな

一茶

茶園のほか、垣根にもよく植えられます。インドなどの自生種は八メートルくらいの高木となるようですが、栽培種は一定の高さにとどめられます。枝は細かく分かれ、葉は互生し、濃緑色で光沢があります。花は秋の末から初冬にかけて葉のつけ根から出た緑の柄に一個から数個咲きます。白い五弁の小さな花の中心に多数の金色の蕊があるのが特徴で、俯向いてつつましく咲く茶の花の風情は、清楚で美しいものです。

チャの歴史は中国がもつとも古く、周の時代にすでにあったといわれ、宋の時代に緑茶ができ、明の時代に紅茶が始まったといわれています。

わが国のチャの栽培は、平安



秋の末から初冬にかけて咲く茶の花

時代初期に最澄が唐から種子を持ち帰ったのが始まりとされ、一一九一年、日本に臨濟禪を伝えた栄西が製法とともに宋から伝えて広まったといわれています。

今月の図書



十三歳の出発

小野紀美子著

戦争の中で健一たちは見た！
地下室で知り合ったユダヤ少年は、雪の朝引き立てられて行った……。第二次大戦末期の欧州で必死の脱出をはかる日本人の一人。

その中で健一たちは、戦争への怒りと人間愛を知り成長していく。第28回児童小説入選作品です。

のらくろひとりぼっち

高見澤潤子著

漫画「のらくろ」の誕生から50年。日本漫画の王者、田河水泡先生の人生の滋味ゆたかな話題を奥さんが始めてつづられたエッセイです。

「のらくろ」ブームが、再びよみがえってきたいま、ぜひ読んでいただきたい一冊です。そして、夫婦とは、人間関係とは、などとかく忘れがちな現代の生き方に対し考えさせられる本です。

今月の料理



くずし豆腐の牛乳スープ

牛乳スープ

【材料】六人分

豆腐二丁、ハム六枚、干シイタケ五枚、タマネギ小一個、グリーンピース^{70g}、半杯、スープ^{70g}一杯、牛乳^{70g}二杯、調味料

【作り方】

①干シイタケは、水にもどして軸を取り、ハム、タマネギ、タケノコとともに一角の薄切りにする。

②豆腐はくずしてざるにのせ、十分ほどおいて水切りにする。

③中華鍋に油大サジ二杯を熱し、シイタケ、タマネギを入れて香りよくいため、ハムを加えてサッとひといためし、スープを注ぐ。

④煮立ったら牛乳と豆腐、グリーンピースを入れ、酒大サジ一杯、塩小サジ一杯、コシヨウで調味し、カタクリ粉大サジ二杯(倍量の水で溶く)を入れてとろみをつける。

トーナメント戦に優勝したオールスターズ



カメラの目

全日程68試合を消化
村軟式野球戦

5月8日に開幕した村軟式野球連盟リーグ戦は12チームが参加。A・B2リーグに分けて前期戦30試合を、後期戦は8月19日から10月9日までで30試合を消化しました。リーグ戦結果は、前期Aリーグ優勝ラッキー、Bリーグ優勝バッファローズ。後期Aリーグ優勝ラッキー、Bリーグ優勝役場Bとなりました。

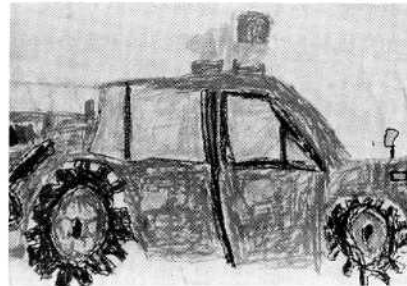
そして、リーグ戦終了後の11月1日からトーナメント戦を行い、最終戦の11月16日にオールスターズがバッファローズに9対8の1点差で優勝しました。入替戦を含め本年度は68試合を消化し、11月20日の表彰式と納会を最後に全日程を終了しました。

中島伊智子ちゃん(一歳二平)
清彦さん・佳美さん長女



すくすく育て

子供の作品



しょうぼうじどうしゃ
ふるたじゆんべい(五歳)西洞

神土保育園



あなたの作品をお寄せください。
・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。
・毎月20日までに、神土伊藤重雄宛に出してください。

海と山連なり合ひて秋雨に煙らひ浮かぶ鳥羽の島々

○安曇野は到るところに神座して色とりどりの秋の花咲く

この土籠罫を巧みに避けてゆき隣りの菜園縦横に荒らす

○行きすりの人に飛驒弁指摘され問へば四年を飛驒に住みしと

大気澄む秋の夜空の星影のかすみでぞ見ゆ眼の疲れしか

實の子編む夫の手に秋風の運ぶもみじは雑木の落葉

老に向ふ日々の営み身に沁みてテニスコートに夕日を仰ぐ

喜寿祝ふ日に頂きしカーネーションまだ生き生きと鮮けき保つ

すがすがとかけろふ見ゆるこの朝を旅立つ夫の無事を祈れり

○裏庭のうす陽の中に雪虫は即かず離れず吾とあそべり

○城下町武者窓のある木村邸に一人住みみ茶の家元は

岩村城趾の見学終へて濁り酒「女城主」を土産にと求む

苔むせる岩を仰ぎつ秋の日を苗木城趾の石だたみ路む

季の移りさほど気付かぬ玻璃戸越し畝間に大根白き肌見す

ことごとく刻む庖丁の音がして子のマイホームに今朝は目醒めぬ

すさまじき朝焼けなりき台風の本土うかがふその晩にして

○はるかなる鳥海山は雪被き庄内平野の秋ふかまりぬ

○生業の五十年経し免許状染みしは何ぞ汗か涙か

逝く者ハ斯ノ如キカ目白にも閑古鳥鳴く秋とはなりぬ

評曰、百年河清ヲ俟ツモ人壽幾何ノ

東京 桂川 熊吉
安江 嘉久一

三戸 きり

安江 龍玉

早瀬 勇造

安江 節子

古田よし江

早瀬 久子

安江 守平

安江すみよ

今井 弘恵

小池 弘子

今井 かな

伊藤 美枝

安江 澄

伊藤 重雄

田口 一枝

田口 巽午

安江 幸

安江 嘉久一

東京 桂川 熊吉

二十一世紀と言はれて吾は緘黙す米寿茫々明日もわからぬ

田口 良三